

平成23年度

平成 23 年 5 月 12 日

富山小学校だより



No. 3

たけのこ のように **ぐんぐん**と！ 竹 のように **しなやか**に！

春は、「たけのこ」をおいしく味わえる季節です。ぐんぐんと伸びていく「たけのこ」、そして、しなやかな強さをもっている「竹」について、子ども達に 5 月 11 日の全校朝会で話しました。「ぐんぐんと伸びていく子ども達」「しなやかな強さを身につけた子ども達」に育ってほしいと願っています。



【「たけのこ」の写真】

【5 月 11 日の全校朝会での話】

(略) 「たけのこ」は大きくなること、成長することが、とても速いです。一日に 1 メートルものびることがあるそうです。(「1 メートルものさし」を指して) これは「1 メートルものさし」ですが、1 日でこれだけ伸びるというのはすごいことだと思います。最初は、「たけのこ」の写真掲示) 地面から頭をだしてこの位の高さだったのが、どんどんと伸びていき 10 日くらいで周りの竹と同じ位になるそうです。「たけのこ」は、ぐんぐん伸びます。



みんなも、「たけのこ」のように、「ぐんぐん伸びていってほしい」です。身長も伸びてほしいですが、ここで私が言いたいのは、勉強や運動などのみんなの力が、ぐんぐんと伸びてほしいということです。

ここで、「たけのこ」の字について考えてみたいと思います。(略) また、漢字で書くと、竹の子どもで「竹の子」です。難しい字ですが、「たけのこ」の漢字にはこのような字「筍」もあります。この字を上と下の 2 つに分けてみます。上の字は、「竹」ですが、下の字の上についているので「竹かんむり」といいます。下の字は、「旬」です。これは、「しゅん」とか「じゅん」とか読みます。「しゅん」というのは、「魚や野菜、果物などの一番味の良い時期」のことを言います。春の旬の食べ物に、「たけのこ」も入ると思います。

また、「じゅん」というのは、10 日間のことです。みんなも、「上旬」「中旬」「下旬」という言葉を聞いたことがあるかと思います。毎月の 1 日から 10 日までを「上旬」、11 日から 20 日までを「中旬」、21 日から月末までを「下旬」と言います。「たけのこ」は地面に頭を出してから 10 日間で大きくなるので、「竹かんむり」に「じゅん」と書いて、「筍」と読むようになったと言われています。漢字というのは面白いなと思います。

次に、「たけのこ」が大きくなって「竹」になりますが、「竹」についてのお話をします。竹は、背が高いわりには太さは細いです。竹は、弱そうに見えるかもしれませんが、「竹の雪景

色」の写真掲示) 重い雪がたくさん載ってもびくともしません。冬、雪が降って、竹がこうになっているのを、みんなも見たことがあると思います。この竹は曲がっているけど折れていません。もし、竹が曲がらないくらいにすごく堅かったとしたら、折れてしまうと思います。

竹には、「しなやかな強さ」があると思います。竹は重い雪が上から乗ってきても、折れないで、やわらかく曲がります。そして、雪がなくなったら「バネ」のように、また元のように戻ろうとします。このような「やわらかさ」や「バネのような力」が「しなやかな強さ」だと思います。

みんなも、竹のような「しなやかな強さ」を身につけてほしいと思います。

「竹」はなぜ強いのかというと、それは、まず、「竹」にはたくさんの「節」があり、竹の幹をしっかりと支えているからです。(略) みんなも、物事の区切り、例えば、学校での一日の始まり、朝の読書とか朝の会とか、勉強が始まる時の礼など、一つ一つの「節」を大切にしたいです。そして、竹は、根っこが地面でつながっています。だから、大風が吹いてもびくともしません。みんなも、「竹」の地下茎のように、友達同士で力を合わせていくと「竹」のように「しなやかに強く」なれると思います。(略)



【「竹の雪景色」の写真】

交通安全教室



5月2日(月)に■■■■駐在所の■■■■巡査部長様にご指導をいただき、交通安全教室を実施しました。子ども達は交通安全について、頭でわか

るだけでなく、体全体でわかったりできたりという有意義な学習となりました。まず、子ども達全員で歩行の練習をし、その後、3年生から6年生は自転車の走行練習をしました。



【信号機を設置しての歩行練習】



【道路での歩行練習】



【自転車走行についてのお話】



【自転車の実技練習】

